

令和3年2月吉日

和風会会員各位

和風会講演会のご案内

謹啓

立春の候、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、和風会講演会を下記の日程により開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。先生方には時節柄ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

今回は COVID-19 の影響によりまして、Web での配信となります。裏面に視聴方法を記載いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、ご出席の先生方には日本精神神経学会・精神科専門医制度更新単位の1単位、大阪府医師会生涯研修システムの2単位が認定されます。

謹白

記

日 時：令和**3**年**3**月**4**日（金）**19:20**より

形 式：Zoom-Webinar（Web）によるライブ配信

<プログラム>

話題提供（19:20～）

「不眠症治療薬 デエビゴ錠の情報提供」 エーザイ株式会社

特別講演（19:30～）

座 長：大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 池田 学 先生

「認知症の早期スクリーニングとバイオマーカー」

講 師：筑波大学医学医療系 臨床医学域精神医学 教授

筑波大学附属病院 認知症疾患医療センター 部長

新井 哲明 先生

共催：大阪大学精神医学教室和風会
エーザイ株式会社

抄録

アルツハイマー病例における脳病理の特徴は、アミロイドβ (Aβ) 蛋白およびタウ蛋白の凝集蓄積であり、これらの病理変化は臨床症状が出現する 20~30 年前に始まっていることが明らかとなってきた。それとともに治験の開始時期として軽度認知障害からプレクリニカル期が対象となり、これらのステージを特定するバイオマーカーの重要性が認識されるようになった。現時点で最も有用性が確立されたバイオマーカーは、脳脊髄液中 Aβ およびタウ濃度と分子イメージング (アミロイド PET およびタウ PET) であるが、前者は身体的侵襲性が大きく、後者は高額で施行可能施設が限定的であることから、より簡便なスクリーニングの方法が求められている。本講演では、我々が取り組んでいる歩行、音声、動作などの行動特徴解析やモバイルデバイスを用いた解析を含めて、非侵襲的で簡便なバイオマーカーの可能性についてお話しさせていただく。